

教科名	地理歴史
科目名	世界史探究
グレード	
単位数	単位
対象学年	高校2年

科目の概要と目標	<p>大学入試に対応できる学力をつけることは勿論のこと、高校卒業後の人生に活用できるような能力・資質を修得する。高校の歴史教育によって修得しうる能力・資質の中で特に重要なものは、「①. 論理的かつ批判的に歴史を理解する能力」。</p> <p>「②. ①をもって現在の社会状況（政治・経済・文化など）を分析し、将来の見通しを立てる能力」であると授業担当者（伊藤）は考えている。①・②を修得するためには、段階的なプロセスを経る必要がある。そのプロセスにおいて、生徒たちに「繋ぐ」「比べる」「予想する」ことを日々の授業で意識させる。「繋ぐ」とは史実間の因果関係を明確にすること、「比べる」とは史実に対する多様な解釈を理解すること、「予想する」とは生徒自らが歴史がどのように展開するかを考えたり、解釈を加えたりすることである。</p>
使用教科書	<ul style="list-style-type: none"> 『新詳世界史探究』（帝国書院）
使用副教材	<ul style="list-style-type: none"> 『世界史序説（上・中・下）』（授業担当者作成のオリジナルテキスト） 『ニューステージ 世界史詳覧』（浜島書店）
評価の方法	4回の定期試験および小テスト（割合はおおむね定期試験80%、小テスト20%とする）
学習の方法	「真剣に授業を受けること」「復習を欠かさず行うこと」。この2点を守れば、成績向上を保障する。
生徒への一言	君たちの知的好奇心を満たし、世界史を学んで良かったと心から思えるような授業を行うために、時間と労力を惜しまない。信じてついてきてほしい。

月	授 業 予 定
4月	アジア史（明・清・朝鮮・東南アジア）
5月	イスラーム史（アッバース朝の分裂まで）
	5月下旬 前期中間考査
6月	イスラーム史（アッバース朝の分裂後、三大イスラーム帝国まで）
7月	中世ヨーロッパ史（ゲルマン人諸国家～フランク王国）
8・9月	中世ヨーロッパ史（各国史）

	9月下旬 前期期末考査
10月	近世ヨーロッパ史（ルネサンス～大航海時代）
11月	近世ヨーロッパ史（宗教改革～各国史）
	11月下旬 後期中間考査
12月	近世ヨーロッパ史（絶対王政期～イギリスの市民革命）
1月	近世ヨーロッパ史（産業革命～アメリカ独立戦争）
2月	近代ヨーロッパ史（フランス革命～ナポレオン帝国）
	2月下旬 後期期末考査
3月	近代ヨーロッパ史（ウィーン体制）